



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1679 回例会

平成 23 年 11 月 7 日(月)

18:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

「君が代」

3. ロータリーソング

「奉仕の理想」

4. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 39 名

出席率 65.00% 前回修正出席率 66.67%

5. 会長スピーチ

会長 田村 健治 君

皆さん今日は。昨日、台湾から帰ってきました。彰化東南ロータリークラブとの姉妹クラブ締結(更新)をしてきました。桑添国際奉仕委員長、委員の寺下君の3人と一緒に彰化東南RCのメンバーと親交を深めました。



11月3日に関空から台北に向けて出発。台北からはバスで彰化市へ移動しました。途中、新竹市に立ち寄り、昼食を取りました。また、新竹市の産業であるガラス展示館を視察し、夕方に彰化市に到着しました。

夜には合同例会に参加し、姉妹クラブの調印をしました。来賓に彰化市長も来られ、盛大に懇親会が開かれました。また、地元の新聞社の取材もあり、インタビューを受けました。

2日目の11月4日は、朝から彰化東南RCのメンバー10人と親睦ゴルフを楽しみ、夜は彰化懸のIMに参加しました。また、日本からは岐阜県の淡墨RCの5人のメンバーも参加し、交流しました。突然、スピーチを求められ驚きましたが、なんとか無事に終わられました。

3日目は新幹線で台北に移動。桑添さんの仕事のパートナーの孔さんが台北市を案内してくれて、高層ビルの「台北101」を見学しました。

11月はロータリー財団月間です

6. 幹事報告

幹事 山畑 弥生 君

○楠部 賢計君に米山奨学会から感謝状贈呈

7. 委員会報告

○親睦活動委員会 例会終了後、委員会を開きますので委員の方は残ってください。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1676 回例会 23 年 11 月 14 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

ゲスト卓話 和歌山ダルク代表 和高 優紀様



ニコニコ・BOX



Happy birthday

11月お祝い



○会員誕生日

1 日 谷口 誠也君 3 日 山野 明君

4 日 前田 洋三君 9 日 吉田 昌生君

14 日 奥村 匡敏君 27 日 深谷 政男君

29 日 岩井 克次君

○奥様誕生日

1 日 山名 道代様 12 日 千賀 基子様

20 日 朝井 郁子様 21 日 林 美紀様

26 日 木地 チズヨ様

○結婚記念日

1 日 寺下 卓君 3 日 田村 健治君

3 日 上田 善計君 5 日 宮田 貞三君

5 日 三木 正博君 8 日 岩井 克次君

12 日 奥村 匡敏君 16 日 楠部 賢計君

21 日 花田 宗弘君 22 日 中村 雅行君

22 日 中村 俊之君 27 日 林 孝次郎君

27 日 田岡 郁敏君

○一般ニコニコ

桑添 剛君

田村会長、寺下君と姉妹クラブ締結の調印式に行ってきました。ご苦労様でした。

田村 健治君

台湾訪問に際し、桑添さん、寺下さん、お世話になりました。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田村 健治 幹事: 山畑 弥生 SAA: 岩井 克次

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

寺下 卓君 台湾・彰化東南R Cの姉妹クラブ
締結の調印式に参加しました。田
村会長、桑添国際奉仕委員長に大
変お世話になりました。

三木 正博君 みなさん、有難う。

台湾・彰化東南ロータリークラブ(姉妹クラブ)



国際ロータリー ニュース

冒険を再び...

元奨学生がカヤックで英国横断

元ロータリー奨学生、ピーター・ウールジーさんは、70歳にして野心的な冒険に乗り出しました。1965-66年度国際親善奨学生として米国に留学したウールジーさんは、募金のために一人でカヤックに乗り、湖水地方からロンドンまでの約640kmを下りました。結果として、高齢者支援の活動「Age UK」のため

に2,500米ドルを集めることができました。

17歳の時に運河やテムズ河を下る冒険をしたというウールジーさん。以後、生涯を通じて情熱を持ち続け、今回、70歳の記念に再びパドルを握る決心をしました。

「目標を達成する上で年齢は問題にならない」と話すウールジーさんは、若い頃、趣味が高じてアウトドア団体に携わり、マンチェスター大学を卒業後、南仏の地中海沿いの町ミラマーに水上スポーツ・センターを設立しました。奨学生時代の25歳の時、継父に招待されて英国ダラム州にあるロータリークラブを訪れたことがきっかけとなり、ウールジーさんは奨学生となりました。選出の際、留学先の地元クラブをすべて訪れ、スピーチの依頼にすべて応えることを約束したそうです。彼は約束を守り、ペンシルバニア大学のワートン・スクールに留学中、84クラブと4つの地区大会でスピーチをしました。留学後はその経験を生かし、MBAを取得したフランスのビジネススクールとワートン・スクールの協力関係を築きました。この努力のおかげで、今日、学生はこの2つの学校で授業を受けることができます。ウールジーさんはその後、英国、フランス、オランダ、スイスに展開する出版業に携わり、ヨーロッパ複数国の顧客を管理する販売管理システム(POSシステム)を導入しました。さらに、北欧全土およびバルト諸国のビジネスを対象とした銀行・保険業務用ソフトウェアの供給会社を設立しました。ウールジーさんはエストニア滞在中、英語を使用言語とするロータリークラブの創立会員となりました。しかし、3年前に英国に戻ってからは、肺炎をこじらせ、度重なる出張の都合もあり、新たなクラブへの入会もなかなか思い通りに行っていないそうです。

カヤックとカヌーは、どんな年齢層の人でも楽しめる、素晴らしいスポーツだとウールジーさんは話します。「一人で風呂に入れるなら、カヌーにだってきっと乗れるよ」といつもアドバイスしています。ロータリー財団プログラムに参加した人たちのためのニュースレター「リコネクションズ」の受信を申し込み、ぜひお読みください。



6月6日、ロンドンを目指してオックスフォード運河を下る1965-66年度国際親善奨学生、ピーター・ウールジーさん。写真提供: Peter Woolsey

2012年 国際大会

2012年5月6～9日
"微笑みの国"タイ
バンコク

